ＭＤＣ-50Ab(MDC-XS5A ソフト)出荷設定

本機は出荷時、XDCAM Station と VTR が制御可能な設定で出荷しています。

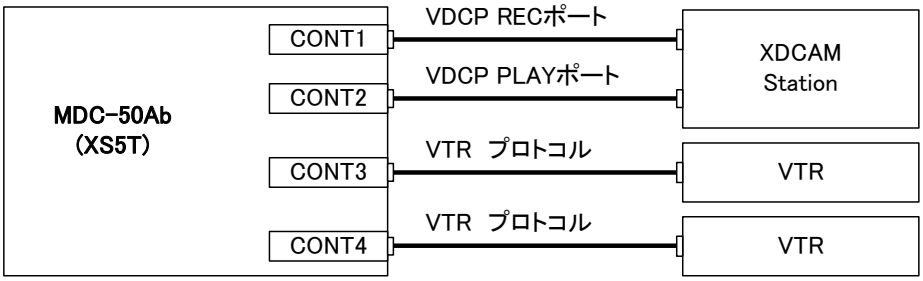
ソフト名称　　：　MDC-XS5A（ 本体表示 MDC50A-VDCP ）

ソフトバージョン　：　S0130-62 XDCAM Station 対応

S0130-72 SRMASTER SR-R1000 対応

※　２０１２年１１月出荷より SONY 社 SRMASTER SR-R1000 に対応しました。

※　標準出荷では、XDCAM Station の設定で出荷しています。



注）上記はポートライセンスをフル装備で購入した時です。

■接続について

設定は、収録を行いながら再生動作させる動作になりますので、９ピンケーブル２本で接続して下さい。

＜目次＞

■通信プロトコルの設定.....3
■追っかけ再生について.....4
■EXT TC で動作させる場合.....5
■XDCAM Station で連続再を行う時の注意！.....6
■SRMASTER 使用時にメニュー設定.....7
■VDCP とVTRプロトコルの設定（参考）.....8
■接続後の動作確認について.....9

＜履歴＞

年月	内容	担当
2012 年 11 月	SR MASTER 項　追加	小林
同じ	EXT TC 明確化	小林

■通信プロトコルの設定

＜XDCAM Station＞

XDCAM Station のメニューを切り替えて下さい。

項目番号	項目名	設定
208	PROTOCOL FOR REMOTE(9P)	VDCP

＜SRMASTER SR-R1000＞

SRMASTER のメニューを切り替えて下記の設定を行って下さい。

項目(リモート制御の設定)	設定
HOME メニュー → ALT → F10（Remote Comand） → F2（Remote Protocol）	VDCP

※MDC-50Tb で使用するポート全てを切り替えて下さい。

※SRMASTERREMOTE 状態にして下さい。

項目（タイムデータの設定）	設定
TC メニュー → F5 TM SEL	TM2

※切り替えは F10 キーで行います。

■追っかけ再生について

＜XDCAM Station＞

下記のメニューを２１０（7秒）に設定して出荷しています。

7秒での追っかけ再生が可能になります。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecTcSc hDly	**“0～150”（ Def = 210 ）** 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます

※Port1収録ポートを設定して下さい。

※本設定は、XDCAM Station(XDS-2000)の仕様に起因ます。

210(7 秒)は弊社動作確認時に問題なく動作した数値です。

＜SRMASTER ＞

下記のメニューを 30 に設定して下さい。

1秒での追っかけ再生が可能になります。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecTcSc hDly	**30 “0～150”** 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます

※収録ポートを設定して下さい。

※本設定は、SRMASTER の仕様に起因ます。30(1 秒)は弊社動作確認時に問題なく動作した数値です。

■EXT TC で動作させる場合

<XDCAM Station>

XDCAM Station の設定を変更して下さい。

MENU	設定
638[TC FOR VDCP]	REC : TCG　PB : Zero Base

MDC-50Tb は、下記の設定で出荷しています。(変更の必要はありません)

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	LouTcSnCt	**Norma**　TC センスは 常時 1 種類 (FTC 相当 or LTC 相当) **Dual**　TC センスは 常時 2 種類 (FTC 相当 and LTC 相当) VDCP 機器に対してセンスする TC 種別数を設定します。
RS-422 PORT	CplyRspTc	**0-Start** **X-Start** 連続再生制御時の VDCP 機器からの TC アンサーの取り扱い指定

※Port1、2両方共設定を行って下さい。

■XDCAM Station で連続再を行う時の注意！

XDS-PD2000 と XDS-1000 により、クリップの最小 Duration を調整する必要があります。
下記は弊社で動作検証した Duration です。

XDS-2000　※出荷時設定

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CPlyMinDur	**“0～999”（ Def = 30 ） Frame** 連続再生用 IN/OUT の最小デュレーション指定

XDS-1000

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CPlyMinDur	**120 Frame** 連続再生用 IN/OUT の最小デュレーション指定

■SRMASTER 使用時にメニュー設定

SRMASTER を接続する時は、下記のメニュー設定を行って下さい。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	LouSpdStMd	VarZero ダイアル等スピード制御において静止時にどのコマンドを使用するかの設定
RS-422 PORT	CplyFsPlTm	**15** 連続再生処理のオフセット
RS-422 PORT	CplyRspTc	**X-Start** 連続再生処理の TC の設定
RS-422 PORT	ShtlMaxType	**MAX** DialShtl の最大操作位置のスピード
RS-422 PORT	T-BarMaxType	**MAX** T-Bar の最大操作位置のスピード

※RS-422 PORT 項目はポート毎に設定を行う事が可能です。

■VDCP とVTRプロトコルの設定（参考）

VTR プロトコルとVDCPプロトコルを切り替える時は下記の MENU
設定を行って下さい。

MENU	詳細	VTR プロトコル	VDCP プロトコル
RS-422 PORT1	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。	9PIN	VDCP
RS-422 PORT2	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。	9PIN	VDCP
RS-422 PORT1	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。	Play&Rec	Rec
RS-422 PORT2	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。	Play&Rec	Play
CONSOLE	PortCtlMode ※VTR の制御方法を選択します。	Normal	Coupling
CONSOLE	P1EveCueArea ※ポート1の CUE データの保管エリア	AREA-A	AREA-A
CONSOLE	P2EveCueArea ※ポート 2 の CUE データの保管エリア	AREA-B	AREA-A

■接続後の動作確認について

1. 収録を行います。(REC＋PLAY)
MDC-50Ab がﾌｧｲﾙ名(M011xxxx)でﾌｧｲﾙ名を発番して収録を開始します。
※収録を行う毎に xxxx 部の番号がｲﾝｸﾘﾒﾝﾄされます。

2. ポート選択ボタンで"ポート1"を選択すると TC が確認可能です。
※この状態"SFT"スイッチを押すと、ﾌｧｲﾙ名の確認が可能です。

3. 追っかけ再生を開始します。
SFT+PLAY スイッチを押すと、収録ﾌｧｲﾙ中のﾌｧｲﾙを再生ﾎﾟｰﾄ(Port2)に読み出し、収録開始点の7秒前 CUE UP して、再生を開始します。

4. ポート選択ボタンで"ポート2"を選択すると TC が確認可能です。
※この状態"SFT"スイッチを押すと、ﾌｧｲﾙ名の確認が可能です。

上記は簡易動作確認です。
連続再生機能、CUE 機能の詳細は取扱説明書を参照して下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391　　FAX 03-5982-4784
営業時間　9:00～18:00 月曜～金曜（休祝日を除く）
E-Mail : info@musashi-kk.co.jp
URL : http://www.musashi-kk.co.jp/